

## 周産期母子医療センター（新生児部門）

### 1. 概要

当院新生児医療センターは NICU12 床を擁し、愛知県から東三河唯一の総合周産期母子医療センター（新生児部門）に指定され、東三河新生児医療の中心的役割を担っている。重症な児を遠方に搬送することは児の予後に悪影響を及ぼすことから、入院依頼を受けた児は対応可能な疾患である限り断らないことをポリシーとし、最後の砦としての役割を果たしている。また、地域の新生児医療のレベルアップを図ることも重要な役割と考え、地域で周産期医療に携わる医師、助産師、救急隊員などを対象に、新生児蘇生法講習会を開催した。センター長（新生児部門）の小山典久は愛知県周産期医療協議会会長として、県の周産期医療体制整備や計画立案にも参画している。厚生労働省は出生 1,000 人に対して 2.5 から 3 床の NICU が必要と公表している。これを受け愛知県では 2015 年度末までに県内の NICU を 180 床以上（210 床程度まで）に増床する整備計画を立てていたが未達成である。東三河に必要な NICU は 15 から 18 床と試算されており、今後の整備が期待される。

（センター長 小山 典久）